



第 16 回 MBA 軽井沢セミナー

Creative Japan from Karuizawa

「軽井沢安東美術館が創る 藤田嗣治の世界」 ～日本初 藤田嗣治に特化した美術館設立への挑戦～

ここ3年間新型コロナウイルスの影響により、リモート（Zoom）による開催を余儀なくされておりましたが、今年から場所を軽井沢ユニオンチャーチに戻し、対面で開催させて頂くことになりました。

今回のセミナーでは、安東美術館の代表理事の安東泰志氏を講師としてお招きしています。日本初・藤田嗣治だけを常設展示する軽井沢安東美術館が、2022年10月8日にオープンしました。この美術館には、多くの企業再生に携わってこられた代表理事の安東泰志氏と妻・恵様ご夫妻が長年蒐集し、自邸に大切に飾ってきた藤田の作品200点が所蔵されています。今回は、安東泰志氏ご自身のこれまでのキャリアとこの美術館を設立するに至った経緯、この美術館のご案内を含め、美術館に対する思い、藤田の作品について、これからのビジョン等についても語って頂く予定です。4年振りの対面での開催、緑豊かな軽井沢で皆様とお会いできます事、楽しみにしております。是非、多くの方々のご参加をお待ちしています。

【日時】 2023年9月30日（土） 15:30～ 開場・受付開始
16:00～17:30 講演
18:00～20:30 懇親会

【セミナー並びに懇親会場】 ユニオンチャーチ

<http://www.karuizawaunionchurch.org/>

〒389-0102 長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢 862 （旧軽テニスコート隣）

【参加費】 セミナー： ¥2,000（教会への寄付等） 懇親会：¥4,000

■ **講師： 安東 泰志（あんどう やすし）氏**

ニューホライズンキャピタル 代表取締役会長
一般社団法人 安東美術館 代表理事

主催： NPO 法人MBAキャリアデザイン研究所 <http://www.mba-career.net>

後援： NBS 長野放送

講師紹介

■ 講師： 安東 泰志（あんどう やすし）氏

ニューホライズンキャピタル 代表取締役会長
一般社団法人 安東美術館 代表理事



<ご略歴> 1958 年生まれ。東京大学経済学部卒業、シカゴ大学経営大学院 (MBA) 修了。1981 年三菱銀行 (現三菱 UFJ 銀行) 入行、1988 年より、東京三菱銀行ロンドン支店にて、非日系企業ファイナンス担当ヘッド。90 年代に英国並びに欧州大陸の多数の私的整理・企業再生案件について、参加各行を代表するコーディネーターとして手掛け、英国中央銀行による「ロンドンアプローチ・ワーキンググループ」に邦銀唯一のメンバーとして招聘される。帰国後、企画部・投資銀行企画部等を経て、2002 年 2 月フェニックス・キャピタルを創業し、代表取締役 CEO に就任。その後、2006 年 10 月の会社分割を経て、通算 20 年超の実績 (独立系ファンドとしては最大規模の累積運用資産総額 2,700 億円超) を有する。現在は、ニューホライズンキャピタルとして 6 本目、創業から 10 本目のファンドを運営中。2002 年以來、すべてのファンドの創設時にキーマン (主運用責任者) をつとめてきた安東泰志氏をはじめとするニューホライズンキャピタルのチームメンバーは、フェニックス・キャピタルにおいて、三菱自動車、ティアック、東急建設、不動建設、世紀東急工業、市田、ツムラ等、また、ニューホライズン 1 号から 4 号ファンドにおいても多数の投資を実行し、開示可能なエクイティ投資先だけで約 50 社、全体では 100 社超の日本随一の投資実績を有する。事業再生実務家協会理事。著書に『V 字回復を実現するハゲタカファンドの事業再生』(幻冬舎メディアコンサルティング 2014 年)。

お申し込み：参加ご希望の方は、氏名・所属団体・連絡先をご記入の上、9 月 23 日迄に info@mba-career.net もしくは <http://www.mba-career.net> の HP 上からお申し込み下さい。

お問い合わせ： NPO 法人 MBA キャリアデザイン研究所事務局 info@mba-career.net

★NPO 法人 MBA キャリアデザイン研究所とは <http://www.mba-career.net/>

NPO 法人 MBA キャリアデザイン研究所 (代表 庄司祐子)、その創業の意図するところは、産学連携の中で日本の MBA の価値を高めていく事にあります。当研究所では、15 年前から軽井沢にて MBA セミナーを開催しております。今回、16 回目にあたるセミナーでは、安東泰志氏をお迎えし、ご自身のこれまでのキャリアと軽井沢安東美術館を誕生させた経緯、この美術館のご案内を含め、美術館に対する思い、藤田の作品について、これからのビジョン等についても語って頂く予定です。

